

サステナビリティ推進データ

サステナビリティ行動計画

自主評価の凡例 ☺=目標達成 ☹=一部未達 ☹=未達

分野	重要課題（重要課題は★）	KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標	中長期目標
人が活きる環境の創造	★モノ・コトづくりのクオリティの追求 ★イノベーションの推進と新しい価値の創出 7 8 9 12	中期経営計画2025 参照 2023年5月10日開示 中期経営計画2025 説明資料 https://ir.okamura.co.jp/library/managementplan/	<ul style="list-style-type: none"> 企業の成長を支える多様な働き方に応えるソリューションの提供 小売業が抱える社会問題の解決とみらいの店づくりの研究・開発 スマート物流に貢献する製品・サービスの開発 産業車向けの環境対応型製品の開発 	2024年5月13日開示・2024年3月期決算説明会資料 ☺	2023年度目標継続	顧客・社会への新たな価値提供による「人が活きる社会の実現」
	★安全な製品・サービスの提供 9 12	重大製品事故発生件数 *重大製品事故の定義：当社製品により、生命・身体に重大な被害を及ぼした事故、および製品以外の財産に火災等の重大な被害を及ぼした事故	0件	0件 ☺	0件	—
	地球環境への取り組み	★サーキュラーエコノミーの推進 3 6 7 9 12 13 14 15 17	省資源・廃棄物削減による資源循環の推進 製品開発における環境配慮型企画と設計推進	生産系廃棄物の社内完成高あたり前年度比1%の排出量原単位低減	生産系廃棄物等排出量 原単位前年度比3.1%増加で未達 ☹	生産系廃棄物等排出量 社内完成高あたり前年度比1.0%の原単位低減
★持続可能な自然資源の利用と保全 6 12 13 14 15 17		森林資源の持続可能な利用の推進 環境影響度の低減	木材利用方針に基づいた利用率集計 前年度比1%の水資源使用量 原単位低減	利用方針遵守中 ☺ 水資源使用量 原単位前年度比5.8%低減で達成 ☺	木材利用方針に基づいた合法性の再確認 水資源使用量 社内完成高あたり前年度比1.0%の原単位低減	— 2030年度10%の水資源使用量削減（2020年度比）
★気候変動問題への貢献とカーボンニュートラルの実現 7 9 13 15 17		地球温暖化防止対策の推進 ●温室効果ガス排出量低減 ●燃料系エネルギー使用量低減	グループ全体で1,000t-CO ₂ /年の排出低減 ●工業用燃料使用量 5年度平均1%低減 ●車両用燃料使用量 5年度平均5%低減	グループ全体で1,264t-CO ₂ /年の排出低減 ●工業用燃料使用量 5年度平均6.5%低減で達成 ●車両用燃料使用量 5年度平均15.7%低減で達成 ☺	グループ全体でスコープ1+2排出量2020年度比20%削減 ●工業用燃料使用量 5年度平均1.0%低減 ●車両用燃料使用量 5年度平均5.0%低減	2030年度温室効果ガス排出量50%削減（2020年度比）、2050年カーボンニュートラルを目指す
		エネルギー生産性向上	エネルギー生産性 前年度比1%向上	生産系エネルギー生産性 前年度比0.6%減少で未達 ☹	●省エネ法対応によるエネルギーの効率利用 ●生産系エネルギー消費原単位 社内完成高あたり前年度比1.1%低減 ●事務所系エネルギー消費原単位 総人員あたりのエネルギー消費原単位維持	2030年度エネルギー生産性向上10%（2020年度比）

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています

分野	重要課題（重要課題は★）	KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標	中長期目標	
地球環境への取り組み	ものづくりでの環境保全活動 3 6 9 11 12 14 15	環境影響度の低減	前年度比1%のPRTR排出・移動量 原単位低減	PRTR排出・移動量 原単位前年度比11.4%増加で未達 	PRTR排出・移動量 社内完成高あたり 前年度比1.0%の原単位低減	2030年度10%のPRTR排出・移動量原単位削減（2020年度比）	
	環境汚染の防止 3 6 11 12 14 15	汚染予防・有害化学物質対策	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染防止 法令遵守（有害物質の管理と削減）	法令違反なし 	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染防止、水銀含有廃棄物の適正処理、フロン関連設備の点検実施と漏えい量管理	環境法令の遵守と情報収集	
従業員の働きがいの追求※	★ Work in Life（ワークインライフ）の推進 3 8	従業員満足・エンゲージメントの向上	<ul style="list-style-type: none"> 働きがい向上施策の実施 エンゲージメントサーベイの実施 	エンゲージメントサーベイ結果レーティング「CCC」（参照 ▶ P.77）	<ul style="list-style-type: none"> エンゲージメントスコア向上 重点改善項目の設定 	2025年度までにBレーティング達成	
	★ DE&I（ダイバーシティ・エグイティ&インクルージョン）の推進 5 8 10	女性従業員比率	(2024年度までに22%)	22%		23%	—
		女性管理職比率	6.5%	6.8%		7%	—
		新卒女性採用比率（大卒）	(2024年度までに40～50%)	47.9%		40～50%	—
		男性育休取得率	65%	63.3%		65%	—
		（男性育休＋配偶者出産休暇）取得率	— 2024年度より目標管理	92.4%	—	100%	—
	障がい者雇用率	2.50%	2.55%		2.58%	2025年度 2.7%	
	★ キャリア形成支援と専門人材育成の強化 4 8	育成面談実施率	100%	96.4%		100%	—
		強みにつながる専門職への各種施策の実施	専門職の技術とスキルの把握	強みにつながる知識習得や国家資格等の取得推進		各事業本部の戦略に沿った専門人材育成のプログラム企画運営の体制とスキームの構築	—
		オカムラ ユニバーシティ受講アンケート「今後のキャリアに活かせる」	満足度80%	受講者の89.6%が今後のキャリアに活かせると回答		受講者の95%が今後のキャリアに活かせると回答	—
	健康と安全に配慮した職場づくり 3 8	年次有給休暇平均取得率	80%	70.8%		80%	—
		一般定期健康診断受診率	100%	100%		100%	100%
		ストレスチェック受検率	100%	99.7%		100%	100%
喫煙率		26%	26.3%		25%	2025年度 前年度より-1%	
「積極的支援」「動機づけ支援」の対象者比率（40歳以上の健診受診者）		各9%以下、5%以下	7.8%、5%		—	2025年度 各8%以下、5%以下	
チームワークによる業務の遂行 8 17	話し合い*実施率	100%	82.4%		100%	—	

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています ※対象範囲：オカムラ単体 *話し合い：職場課題や環境の改善のための全社取り組み

分野	重要課題（重要課題は★）	KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標	中長期目標
責任ある企業活動	★ 公正・透明・誠実な行動 5 8 10 16 17	サステナブル調達調査 実施率	取引金額ベースで67%	取引金額ベースで71% 	取引金額ベースで70%	—
		サステナブル調達 実地監査 実施率	ハイリスクサプライヤーに対して 100%	100%実施 	ハイリスクサプライヤーに対して100%	—
		人権教育（社内）の実施と充実、 サステナブル調達との相乗効果	購買関連部門へ教育実施	20部門 57人 	購買関連部門へ教育継続	—
		入社時および新任役職者向けコン プライアンス教育実施率	100%	100% 	100%	—
		コンプライアンス研修の充実	各種コンプライアンス教育の実施	● 全社コンプライアンス研修（4回 /年）実施 ● その他、課題別研修の実施 	コンプライアンス研修の充実	—
	★ リスクマネジメントの強化 10 11 16	BCP（災害）構築	ハザードマップ（地震・洪水）の見直し	各拠点のデータベースにおいて、ハ ザードマップポータルサイト（国土 交通省）に連携済み 	● 災害対応マニュアルの見直し ● BCP（災害）構築	—
	各国要請に合わせた個人情報管理	諸外国の同法規則対応	法規制に合わせたプライバシーポリ シー改定 	— （2024年度より目標管理から除外）	—	
★ 適正な情報開示と ステークホルダーとの対話 16 17	ステークホルダーとの対話継続と 取り組みへの反映	ESG 関連各外部有識者とのステーク ホルダーダイアログ実施	担当部門が日常的に環境や人権、サ ステナビリティ推進分野の有識者と 面談・意見交換を実施 	ESG 関連各外部有識者とのステークホルダー ダイアログ実施	—	
地域社会との共生 17	戦略的社会貢献活動の定着	従業員参画型社会貢献の実施	複数プログラムを実施 	従業員参画型社会貢献の継続	—	
コーポレート・ガバナンス 5 8 10 16	取締役会の多様性、独立性、客観 性の充実によるガバナンス強化	● 独立社外取締役100%の維持 ● 女性取締役比率25%（3/12）以上	● 独立社外取締役100%達成 ● 女性取締役比率25%達成 	● 独立社外取締役100%の維持 ● 女性取締役比率25%以上	—	

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています